YAGI

取扱説明書

ひずみナイザー

保証書付
（裏表紙の下側が保証書になっています。）

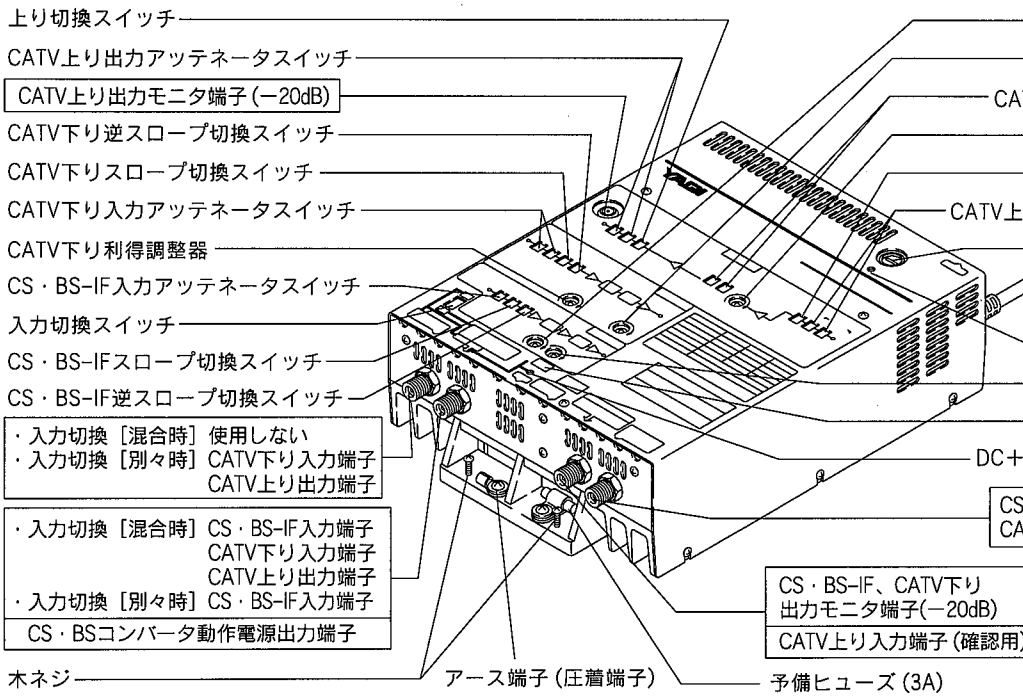
双方向CATV・CS・BSブースタ

CS・BS-IF、770MHz双方向CATV

SEP7400W(屋内専用)

お買いあげいただきありがとうございました。
ご使用前に、この**取扱説明書**と**安全上のご注意**をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
わからないことや故障したときにもお役立ていただくために**取扱説明書・保証書**は大切に保管してください。

◆外観・各部の名称



付属品
・木ネジ…… 1本

◆特　長

- 都市型CATV用に開発した、高性能・高出力な屋内専用ブースタです。
- 110度CSデジタル放送に対応するCS2610MHz広帯域ブースタです。
- 高出力運用により強電界地域での直接波妨害対策に有効なシステム設計が可能です。
- 各帯域に利得調整とスロープ調整が付いていますので、利得調整範囲が広く広帯域なシステムに対応できます。
- CATV上り入力端子（確認用）に上りチェック信号を入力することにより、センターにて幹線の確認が行えます。
- 機器取り付け用の木ネジ3本のうち2本が本体にセットされており、機器の取り付けが容易にできます。

◆ご注意

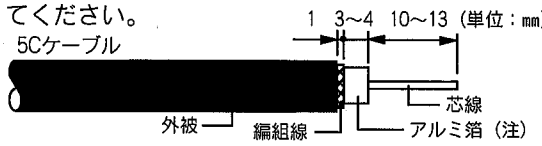
- 設置工事には専門知識が必要ですので、専門業者に依頼してください。
- スイッチや利得調整器などは無理な力が加わると壊れることがあります。操作する場合は慎重にお取り扱いください。
- 設置・施工時の出力信号は定格出力レベルを超えないようにしてください。
- 本器は屋内設置専用ケースですので、やむなく雨水のかかる場所でご使用の場合は防水ケースに入れた上で設置してください。内部に水が入った場合、ショートして火災・感電の原因になります。
- 通気性の悪い収容箱（分電箱等）へ収容してご使用になる場合は、放熱を良くしていただくため、1台までの収容としてください。
- アース接続は必ず行ってください。ショートや落雷により火災・感電の原因になります。
- 送電切換スイッチを操作する場合は、慎重にお取り扱いください。誤ると他の機器の焼損につながります。
- 同軸ケーブルには、テレビ電波以外に電流が流れることがあります。同軸ケーブルを傷つけたり、無理に曲げたりしないでください。火災・感電の原因になります。
- 電源コードは束ねたまま使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- 一般の人が容易に触れる所には設置しないでください。感電・ケガの原因となります。

八木アンテナ株式会社

◆ケーブルの加工とF形接栓の取り付け方法（別売品）

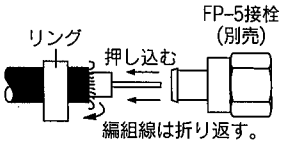
- 接続ケーブルはケーブルロスによる映像障害を防ぐためCS・BS用低損失ケーブルS-5CFBをご使用ください。
- F形接栓の取り付けは、接触不良やショートを防ぐため、ていねいに行ってください。
  下記の加工例は5Cケーブル用です。

①ケーブルを図のように加工してください。
※芯線の付着物は、接触不良をさけるため、必ず取り除いてください。

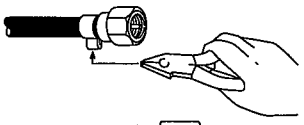


注：図のアルミ箔部分は、同軸ケーブルの種類によってはアルミ箔がなく、その内側の絶縁樹脂となるものもあります。

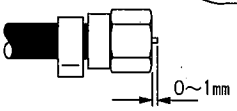
②ケーブルにリングを通し、FP-5接栓をアルミ箔と編組線の間に押し込んでください。編組線はあらかじめカッターナイフの先端などで折り返しておいてください。



③リングをペンチで圧着し、FP-5接栓がケーブルから抜けないようにしてください。



④芯線をニッパーなどで図の寸法に切断して完成です。



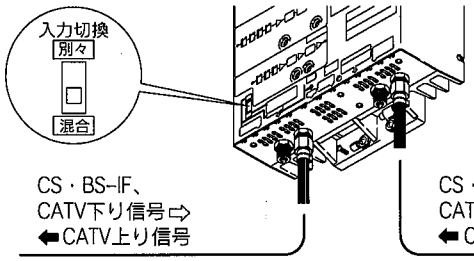
⚠警告

- 同軸ケーブルには電流が流れることがあります。芯線と編組線がショートしないようにしてください。
  火災・感電の原因になります。

◆ケーブルの接続方法

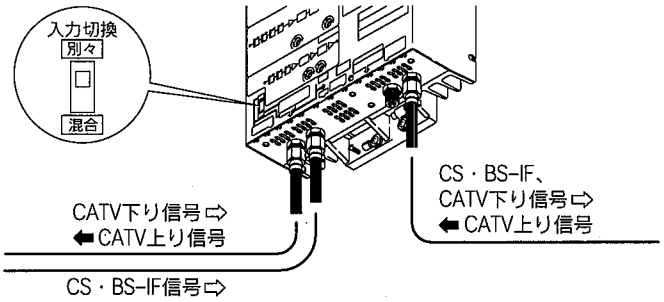
●混合入力の場合

入力切換スイッチを“混合”側にしてください。



●別々入力の場合

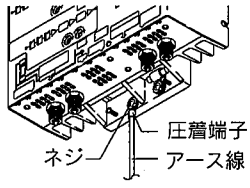
入力切換スイッチを“別々”側にしてください。



ご注意

- F形接栓は2～2.5N·m（約20～25kgf·cm）のトルクで締め付けてください。

◆アースの取付方法

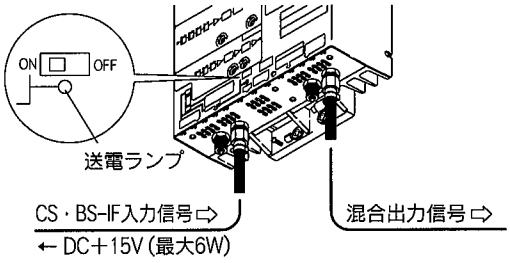


①アース線先端の被覆をはがしてください。
②圧着端子にアース線を通し圧着工具でかしめてください。
③圧着端子をシャーシにネジ止めしてください。

⚠警告

- 故障の原因や感電の原因となることがありますのでアース接続は必ず行ってください。

◆CS・BSコンバータへの送電方法

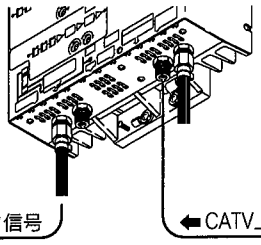


- CS・BS-IF信号の入力端子から、CS・BSコンバータへDC＋15V（最大6W）を送電できます。
  ※その他の端子からは送電できません。
- 接続を確認し、DC＋15V送電切換スイッチを“ON”側にしてください。
  送電ランプが点灯します。
  ※本器のDC＋15V送電機能は、CS・BSコンバータ用です。他のブースタなどを動作させることはできません。

⚠注意

- CS・BSコンバータへの送電は、ケーブルの接続と途中に挿入する機器が電流通過形かどうかを充分に確認してから行ってください。火災・機器の焼損の原因になります。

◆CATVシステムの上り信号通過確認方法



- CATV上り入力端子（確認用）に上りチェック信号を入力することにより、センターにてCATVシステムにおける、上り信号の通過確認が行えます。
- 上り切換スイッチは「増幅」側にしてください。

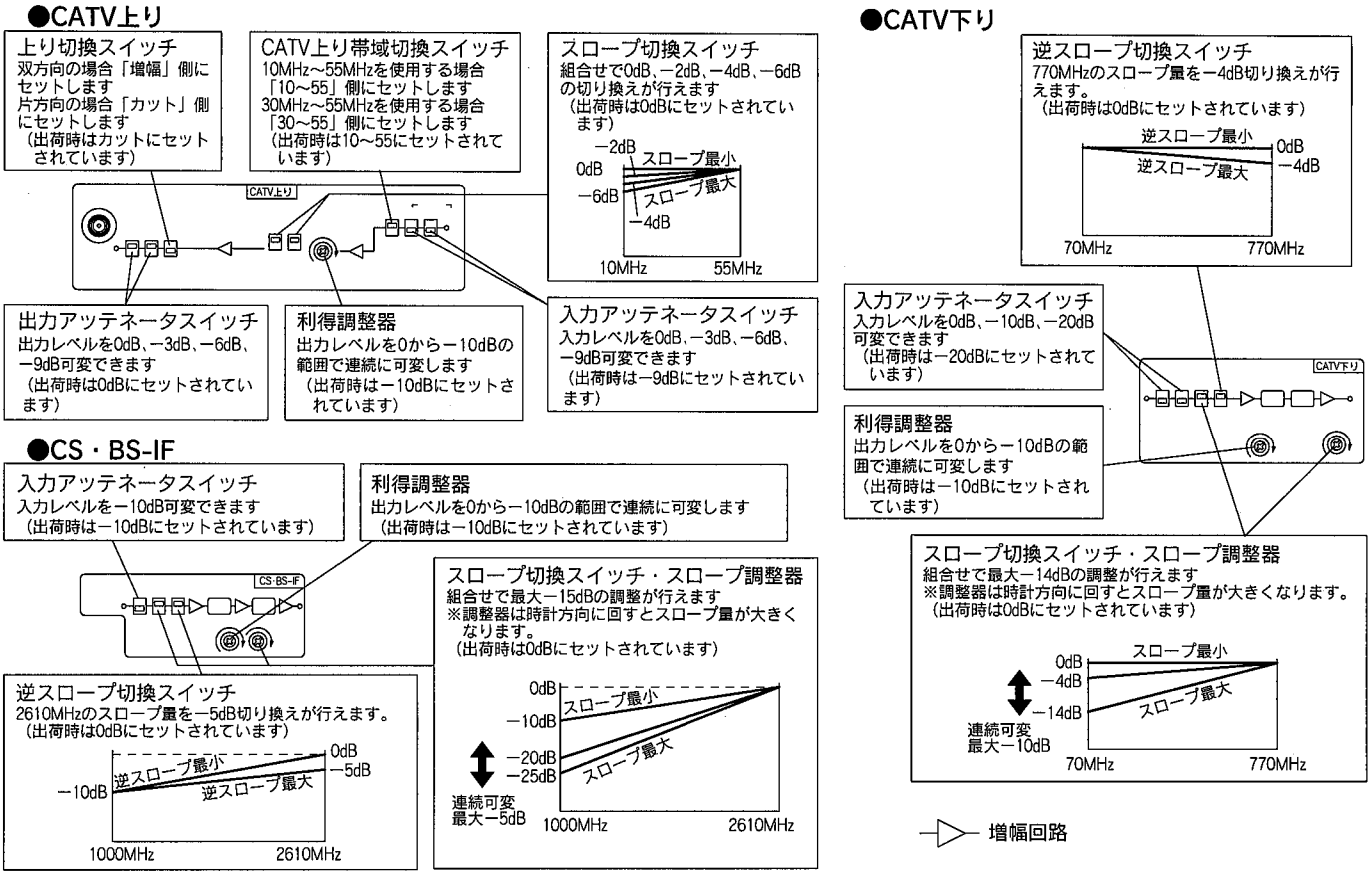
ご注意

本機能はあくまでシステムの確認用です。
確認以外ではCATV上り信号を入力しないでください。

※CATV上り入力端子(確認用)はCATV下り出力モニタ端子兼用です。

◆調整方法

各帯域の調整は、入力アッテネータスイッチにより本器の適正入力レベルに合わせ、利得調整器・スロープ調整器によりシステムに合った出力レベルに調整してください。

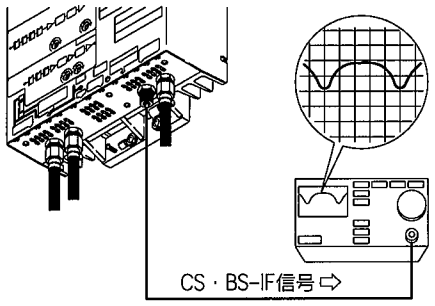


●出力モニタ端子でレベルを監視しながら出力レベルを設定してください。出力モニタレベルは－20dBです。測定値に20dB加えた値が出力端子レベルとなります。各周波数帯域の出力端子レベルは下記の値以下に設定してください。

周波数帯域	CATV上り	CATV下り	CS・BS-IF
出力端子レベル(dBμ)	114(2波)	110(74波)	103／113(36波)

本器は定格出力レベル以下でお使いください。定格出力レベル設定後、利得調整器や入力アッテネータスイッチを操作して定格出力レベルを越えると機器の故障の原因となります。

◆デジタル衛星放送波の出力レベル確認方法（スペクトラムアナライザ）



●デジタル衛星放送波の出力レベルを確認する場合、次のように行ってください。
①スペクトラムアナライザを出力モニタ端子に接続します。
②デジタル衛星放送帯域内の任意の1トランスポンダをセンタに合わせます。
③スペクトラムアナライザは、SPAN（表示周波数幅）50MHz、RBW（分解能帯域幅）1MHz、VBW（映像フィルタ）300Hzに設定します。
④センタに合わせたトランスポンダの最大値に変調による補正値を加えた値が出力レベルになります。

出力レベル ＝スペクトラムアナライザの最大値＋補正値

CSデジタル補正値：15dB　BSデジタル補正値：16.3dB

スペアナ設定

SPAN…50MHz、RBW…1MHz、VBW…300Hz

＜無料修理規定＞

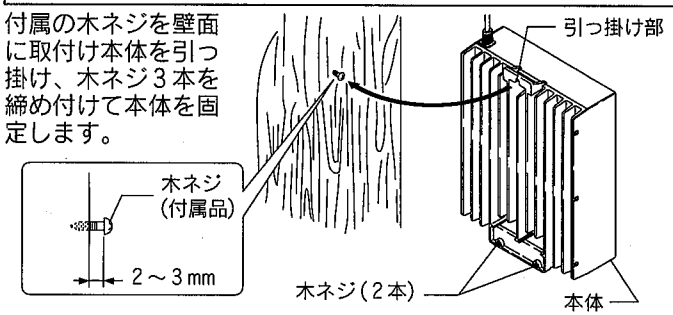
1．お買い上げの日から1年間、取扱説明書、製品自体に表示した注意書きなどに従った正常な使用状態において、万一故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
2．無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店または直接弊社にお申しつけください。
3．ご転居やご贈答品などで、本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、直接弊社にご連絡ください。
4．保証期間内でも次の場合には、原則として有料とさせていただきます。
(イ) 施工・使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
(ロ) お買い上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷。
(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、および公害、塩害、ガス害、異常電圧、指定外の使用電源などによる故障および損傷。
(ニ) 車両および船舶などに搭載された場合に生ずる故障および損傷。
(ホ) 本書のご提示がない場合。
(ヘ) 本書の、お買い上げ年月日、お客様、販売店の各欄に記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
5．本書は日本国内においてのみ有効です。
6．本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

※　この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合には、お買い上げの販売店または直接弊社までお問い合わせください。
※　This warranty is valid only in Japan.

故障内容：機器改良にも役立ちますので必ずご記入ください。

◆ケースの取付方法

付属の木ネジを壁面に取付け本体を引っ掛け、木ネジ3本を締め付けて本体を固定します。



- 本器は屋内専用です。雨水のかかる場所には防水ケースに入れた上で設置してください。
- 本器は、図のように必ず縦方向に取付けてください。

⚠警告

- 機器の質量（重量）に耐えられる場所に設置してください。落下によりケガの原因になることがあります。

⚠警告

- 湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気のあたる場所には設置しないでください。火災・感電の原因になることがあります。
- 電源プラグは共同受信の配線工事がすべて終了してからACコンセントへ接続してください。感電の原因になることがあります。

◆収容箱への設置

- 本器を防水ケースなど通気性の悪い収容箱に収容する場合、**600(縦)×600(横)×200(奥行)mm以上の容積の箱**を使用してください。小型の収容箱を使用すると本体の発熱で故障する恐れがあります。
- 収容箱に本器以外の機器を一緒に収容する場合は、発熱しないものを収容してください。収容箱の内部の温度が高温になると、本体が故障する恐れがあります。

◆標準仕様

項目	CATV 上り	CATV 下り	CS・BS-IF	備考
周波数帯域 (MHz)	10～55	70～770	1000～2610	
伝送容量	NTSCテレビ信号：2ch	NTSCテレビ信号：74ch (70～550MHz) デジタル信号：36 (550～770MHz)	CS・BS-IF：36ch	デジタル信号 (550～770MHz) －10dB運用
入出力インピーダンス (Ω)	75			
定格出力レベル (dBμ)	114 (2波)、110 (4波)	110 (74波)	103／113 (36波)	
標準利得 (dB)	30 (10)	38	30／40	( ) 内CATV上り入力 (確認用)
入力アッテネータ (dB)	0、－3、－6、－9 切換	0、－10、－20 切換	0、－10 切換	CATV上り・下りは加算式
利得調整範囲 (dB)	0～－10 連続	0～－10 連続	0～－10 連続	
出力アッテネータ (dB)	0、－3、－6、－9 切換	－	－	CATV上りは加算式
スロープ調整範囲 (dB)	0、－2、－4、－6 切換	0～－10 連続 0、－4 切換	－10～－15 連続 0、－10 切換	CATV下りは最大－14dB CS・BS-IFは最大－25dB
逆スロープ調整範囲 (dB)	－	0、－4 切換	0、－5 切換	
雑音指数 (dB)	10 以下	10 以下	10 以下	
相互変調 (dB)	－65 以下	－63 以下	－63 以下 ※	※ 2信号 3次歪
混変調 (dB)	－	－56 以下	－	
CTB (dB)	－	－60 以下	－	
CSO (dB)	－	－60 以下	－	
不要放射 (dBμ/m)	34以下		－	
V.S.W.R.	2.0 以下	2.0 以下	2.5 以下	
ハム変調 (dB)	－60 以下			
モニタ (dB)	－20	－20	－20	
耐雷性	±15kV (1.2／50μs)			
使用温度範囲 (℃)	－10～＋40			
電源動作電圧 (V)	AC100±10%			
消費電力	29W (36W)			( ) 内DC＋15V 6W送電時
寸法 (mm)	(高さ) 250×(幅) 184×(奥行) 70			
質量 (kg)	約2.3			
上り帯域切換機能	10～55MHz／ 30～55MHz／片方向	－	－	スイッチ切換 片方向時：上り出力終端

- この製品は今後改良・性能向上のため、形状及び特性を変更することがあります。

八木アンテナ株式会社
〒337-8502 埼玉県さいたま市見沼区蓮沼1406
http://www.yagi-antenna.co.jp

■ 製品に関するお問い合せ ■
048-687-8198
ご利用時間(土・日・祝日・弊社休業日を除く)
9:00～12:00 13:00～17:00

3GBG276C0-08.08